

## 9. 東部沿岸 気高海岸

### 9.1 概要

気高海岸については、西に船磯漁港、東に河内川が位置し、両端を岬で挟んだポケットビーチとして位置づけられている。当海岸の中央には浜村川があり、昭和40年代には、河口埋没対策のため導流堤が設置されている。また同年代に建設された、船磯漁港の防波堤整備により、西端に遮蔽域が形成され、周辺海岸の侵食傾向が見られ始めた。



図 9.1.1 現地写真(被災状況・復旧状況)



図 9.1.2 現地写真

### 9.2 対策実施状況

#### 9.2.1 施設整備状況

- ・ 浜村川導流堤 昭和40年代整備
- ・ 河内川突堤、消波堤 昭和50年代整備



図 9.2.1 上空等からの斜め写真

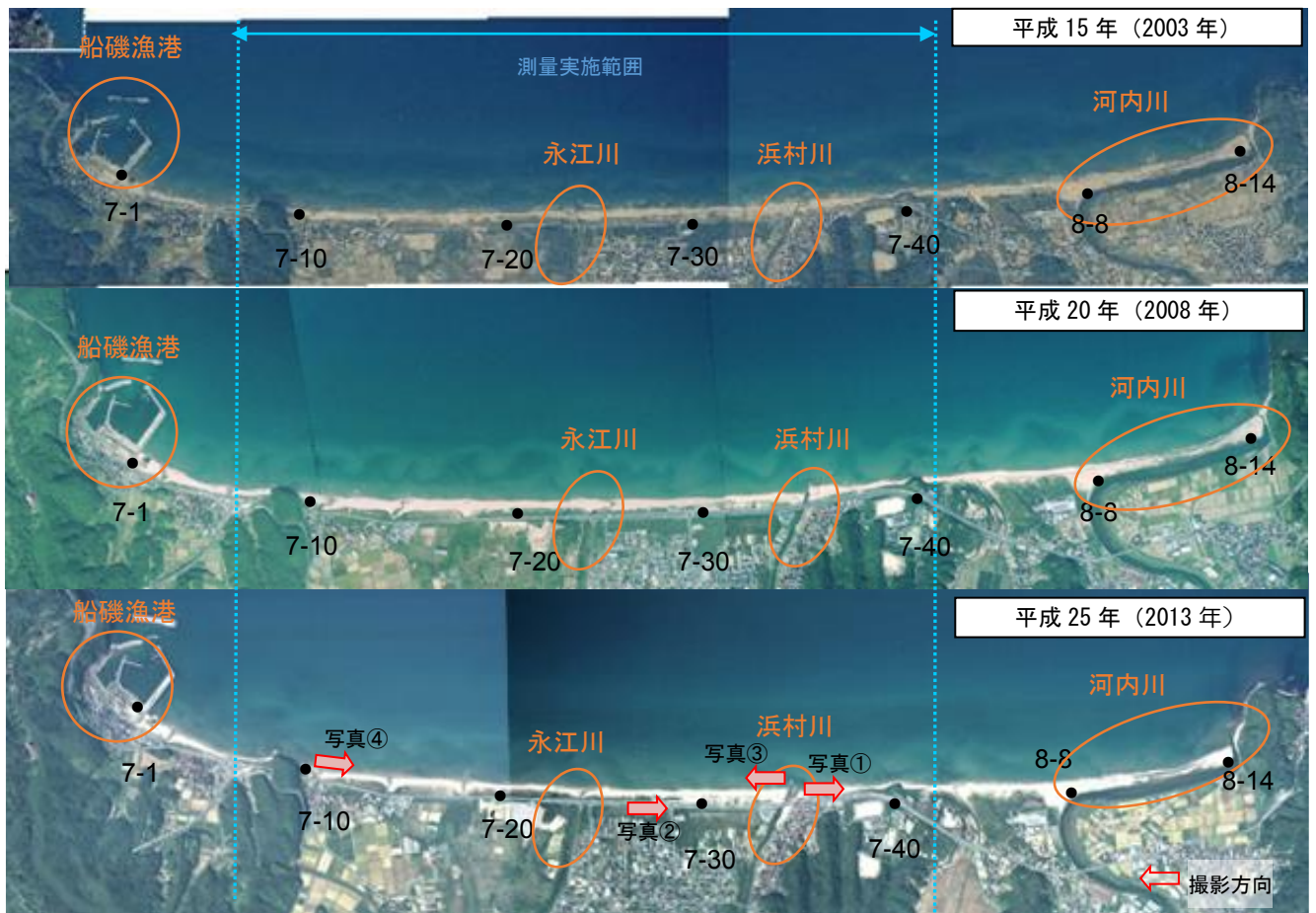


図 9.2.2 気高海岸（浜村地区）の近年の汀線変化状況図

### 9.2.2 土砂投入量実績

気高海岸における土砂投入実績を以下に示す。平成 28 年度には沖合海上に 8,000 m<sup>3</sup>程度、汀線付近に 1,400 m<sup>3</sup>程度の土砂投入を実施している。

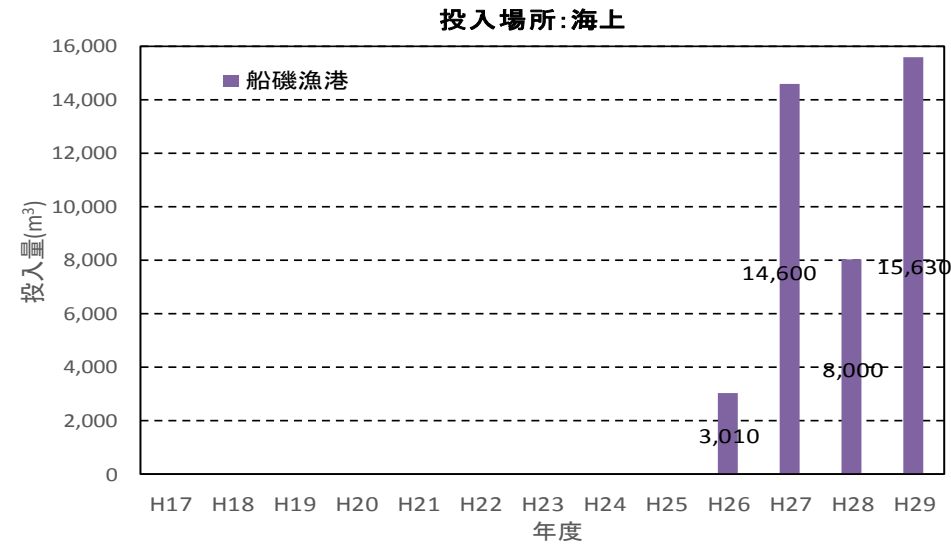


図 9.2.3(1) 気高海岸における土砂投入量（採取場所別）

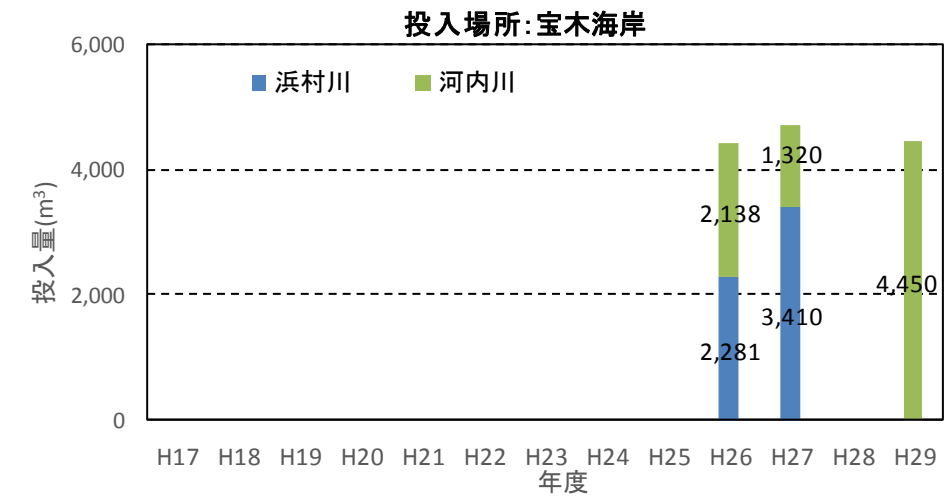
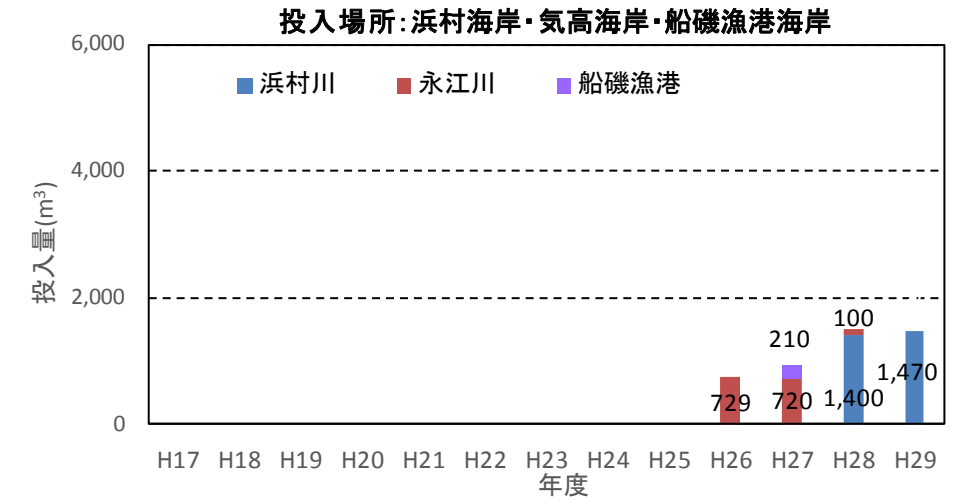


図 9.2.3(2) 気高海岸における土砂投入量（採取場所別）



図 9.2.4 気高海岸における土砂採取場所及び投入場所

### 9.3 評価分析

#### 9.3.1 汀線変化分析

当海岸（浜村地区）では、平成4年より汀線測量を実施している。汀線変化の分析結果は次のとおりである。

#### 【近年の汀線変化傾向】

##### <長期変化>

- ・流入小河川の間となる No.31 付近では、冬季後に 20～40m 程度の侵食を受けることが多い。（コメント①）
- ・平成28年3月には、若干ではあるが、汀線の前進傾向がみられる。（コメント②）
- ・西端部はこれまで大きな侵食を受けることは少なかったが、平成29年2月に No.34、No.38 が 30m 程度の侵食を受けている（コメント③）
- ・平成29年2月～平成29年9月は、浜村川の西側が侵食を受けたが、土砂投入で汀線を維持している。（コメント④）

##### <短期変化>

- ・平成30年3月は、養浜の効果もあり全体的に汀線が安定していた。（コメント⑤）

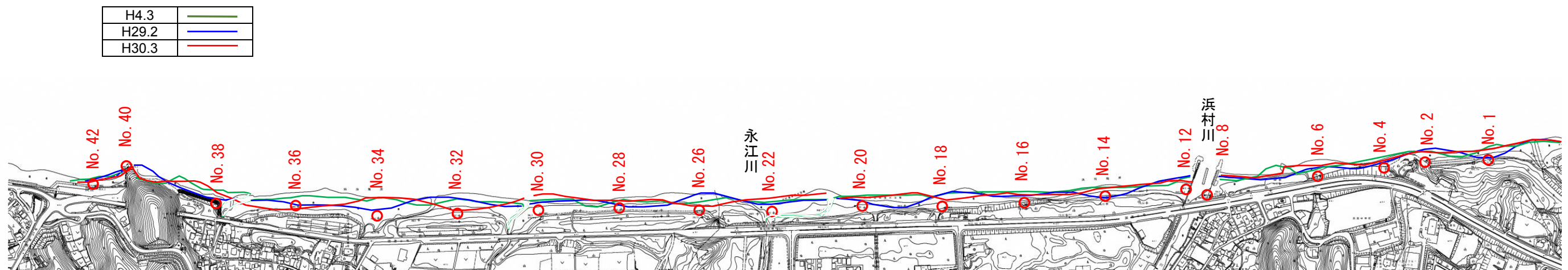
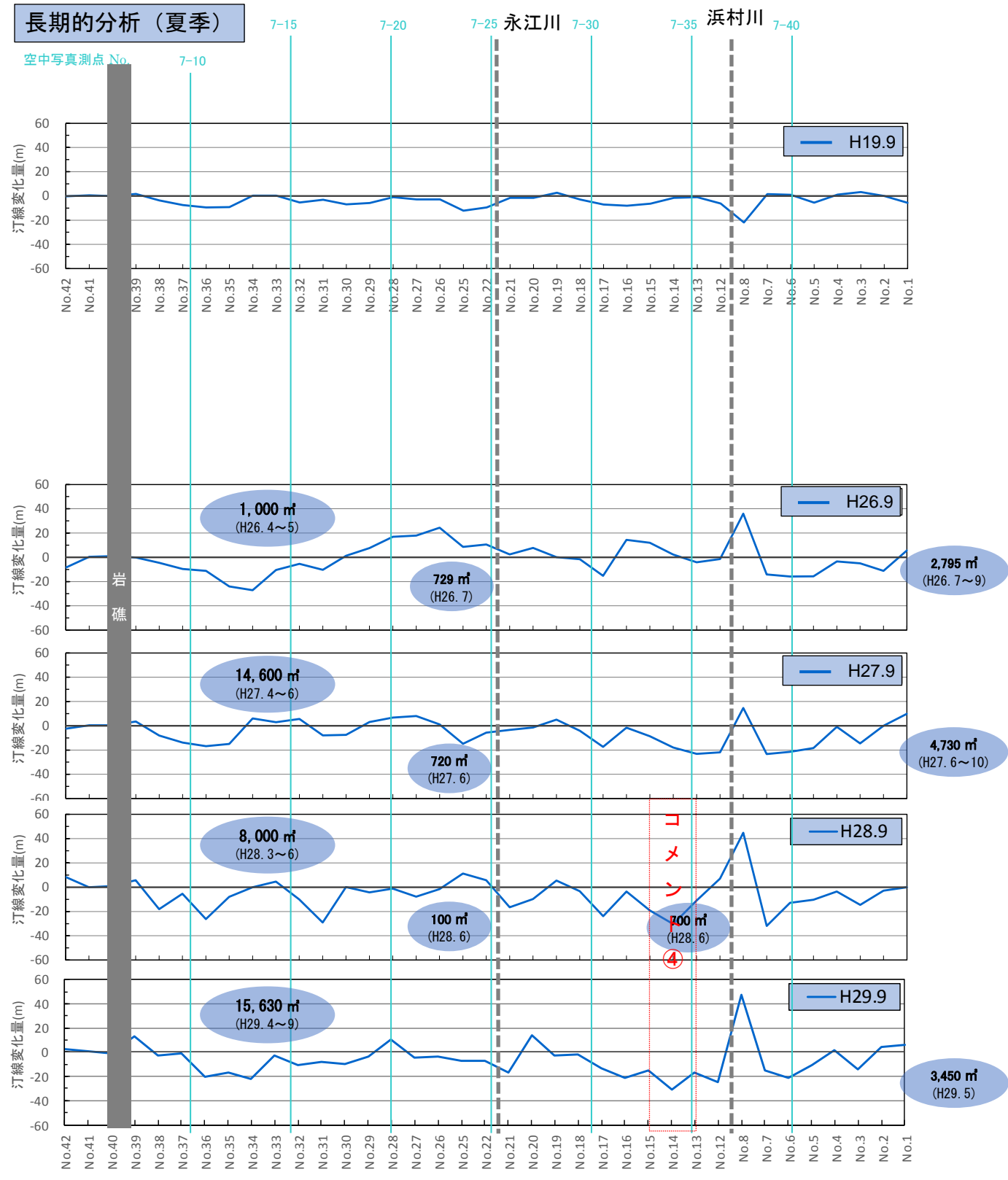
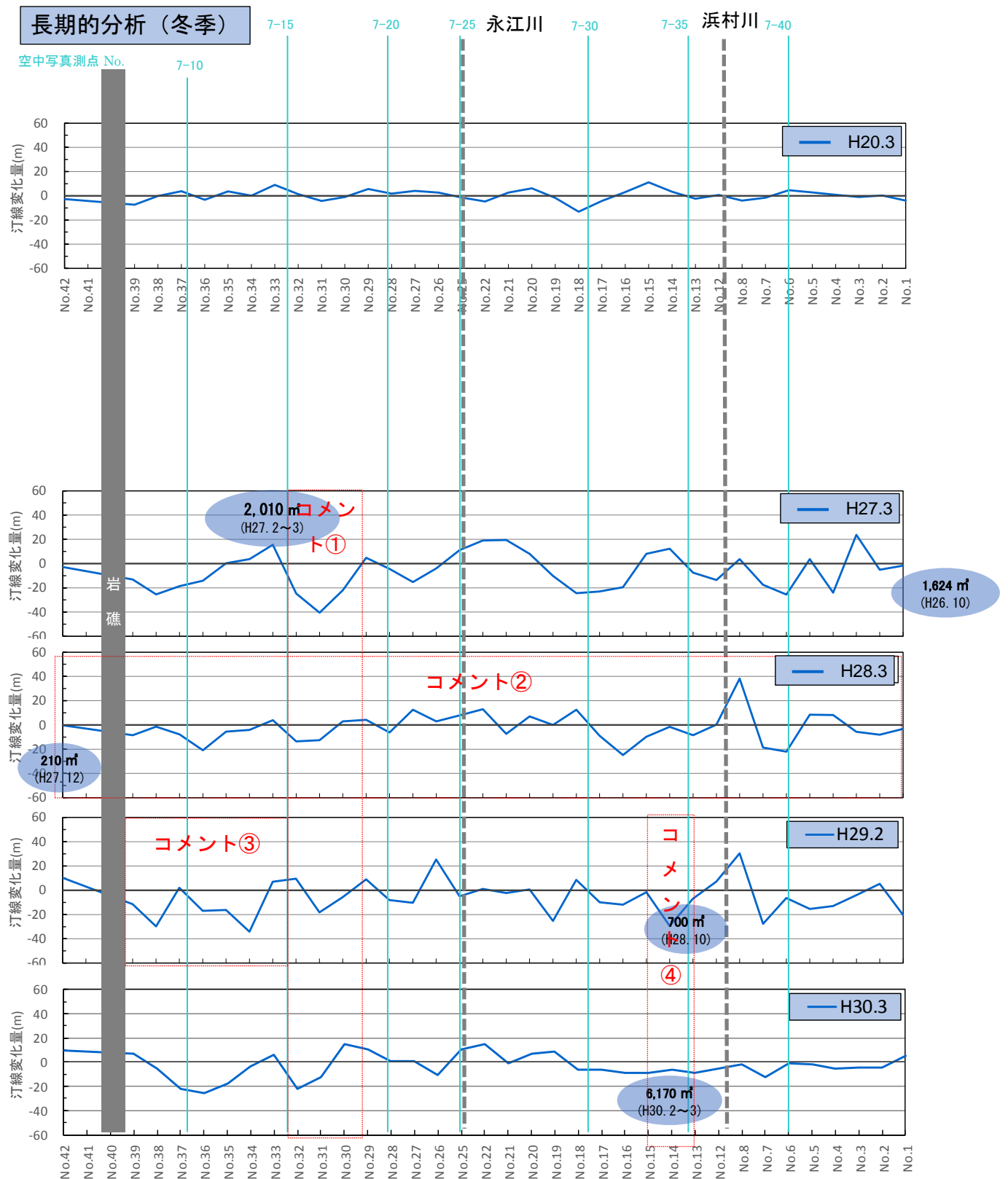


図 9.3.1 気高海岸の近年の汀線変化図



注) 図中の土砂量と年月は土砂投入を表す

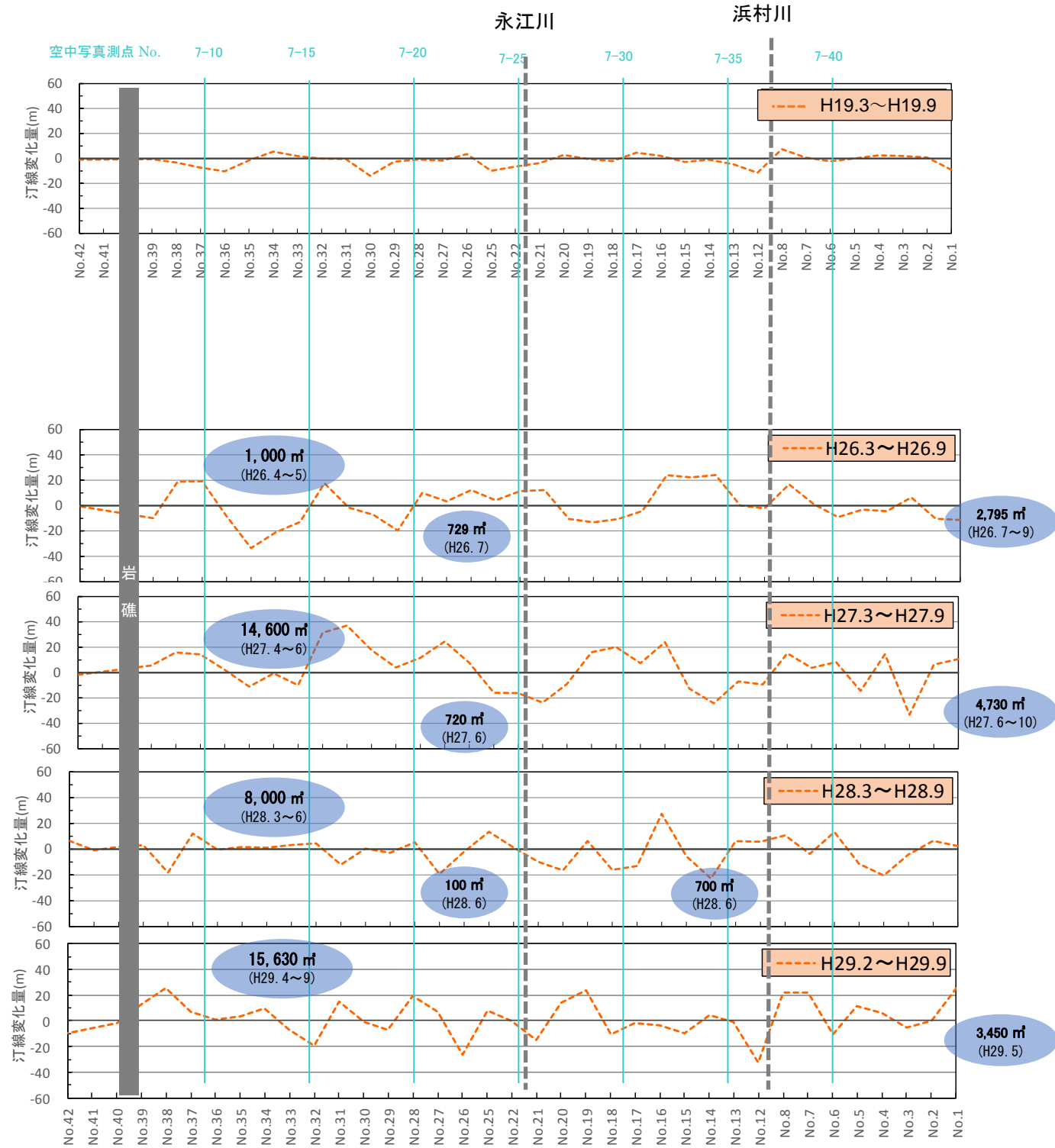
図 9.3.2 気高海岸 (浜村地区) の近年の汀線変化状況図 : 平成 14 年 9 月基準



注) 図中の土砂量と年月は土砂投入を表す

図 9.3.3 気高海岸 (浜村地区) の近年の汀線変化状況図 : 平成 4 年 3 月基準

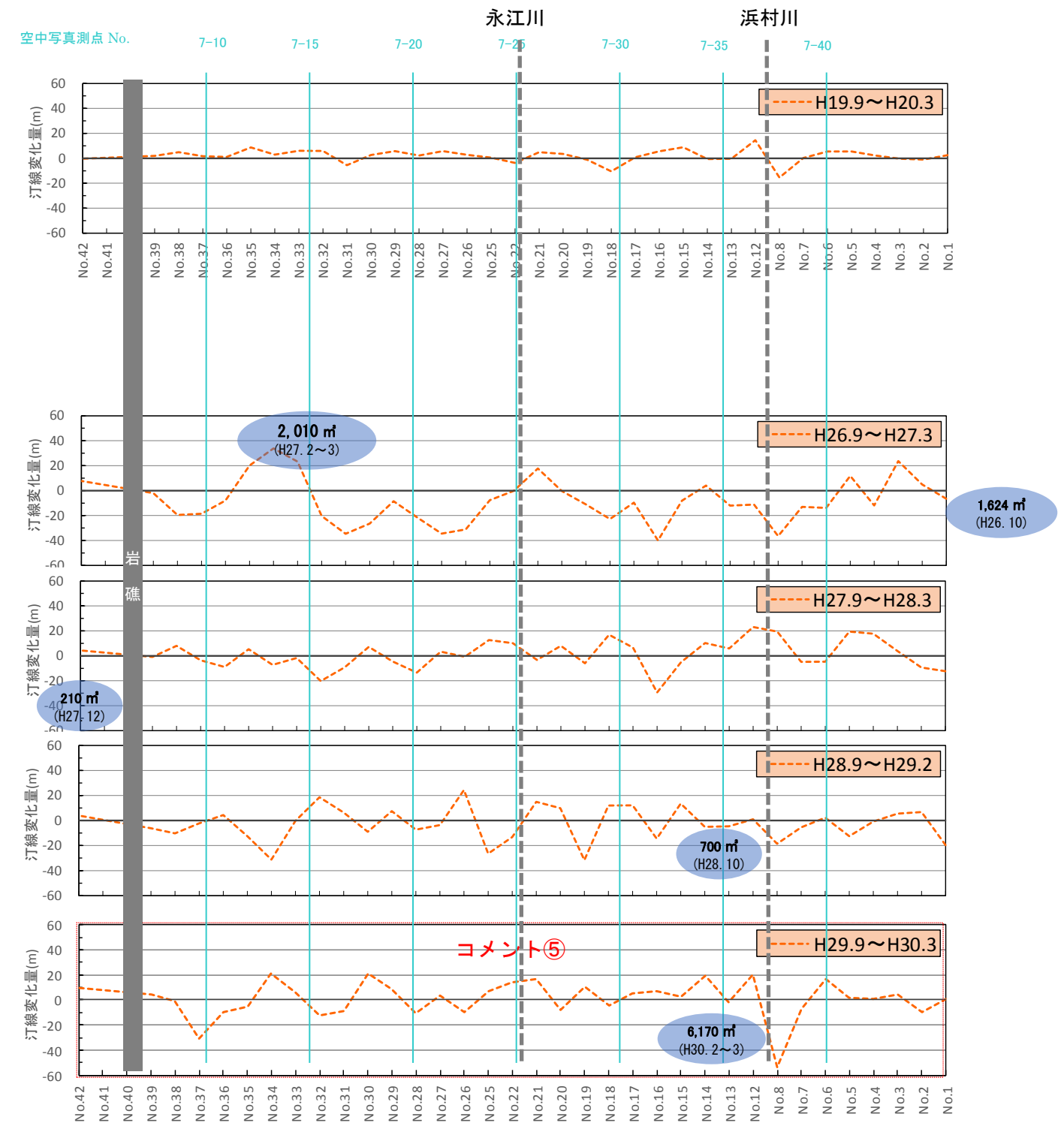
短期的分析 夏季変化 (冬→夏)



注) 図中の土砂量と年月は土砂投入を表す

図 9.3.4 気高海岸 (浜村地区) の近年の汀線変化状況図

短期的分析 冬季変化 (夏→冬)



注) 図中の土砂量と年月は土砂投入を表す

図 9.3.5 気高海岸 (浜村地区) の近年の汀線変化状況図

### 9.3.2 浜幅分析

#### (1) 概要

当浜幅分析は、前述の分析が『ある年度の汀線を基準とした相対的な評価』に対し、『浜幅の絶対量を示しその変動を評価』するものである。

本分析では、浜幅の目安を『防護』『利用』から設定をしており、防護面については打上げ高計算より25m、利用面については海水浴利用の観点から40mに浜幅を設定し、評価を行っている。

- 当海岸は元々浜幅が狭い箇所が多く、わずかの侵食で目安となる浜幅を下回ることがある。陸側の標高が高いことから、侵食を受けてもただちに越波等の被害が生じることもないため、当分は経過を観察する方針とする。

#### (2) 分析結果

- 平成28年度末(H29.2)に各所で侵食を受けており、防護基準を満たさなかった箇所(No.3~5、No.7、No.14、No.19、No.38~39付近)については、いずれも近年では最小の浜幅となっている。
- 平成29年度末(H30.3)に防護基準を満たさなかった箇所はNo.3~5、No.8、No.15、No.36~37付近であり、前年度末より浜幅は回復傾向にあるが、おおむね同様の位置において浜幅の不足状況が継続している。

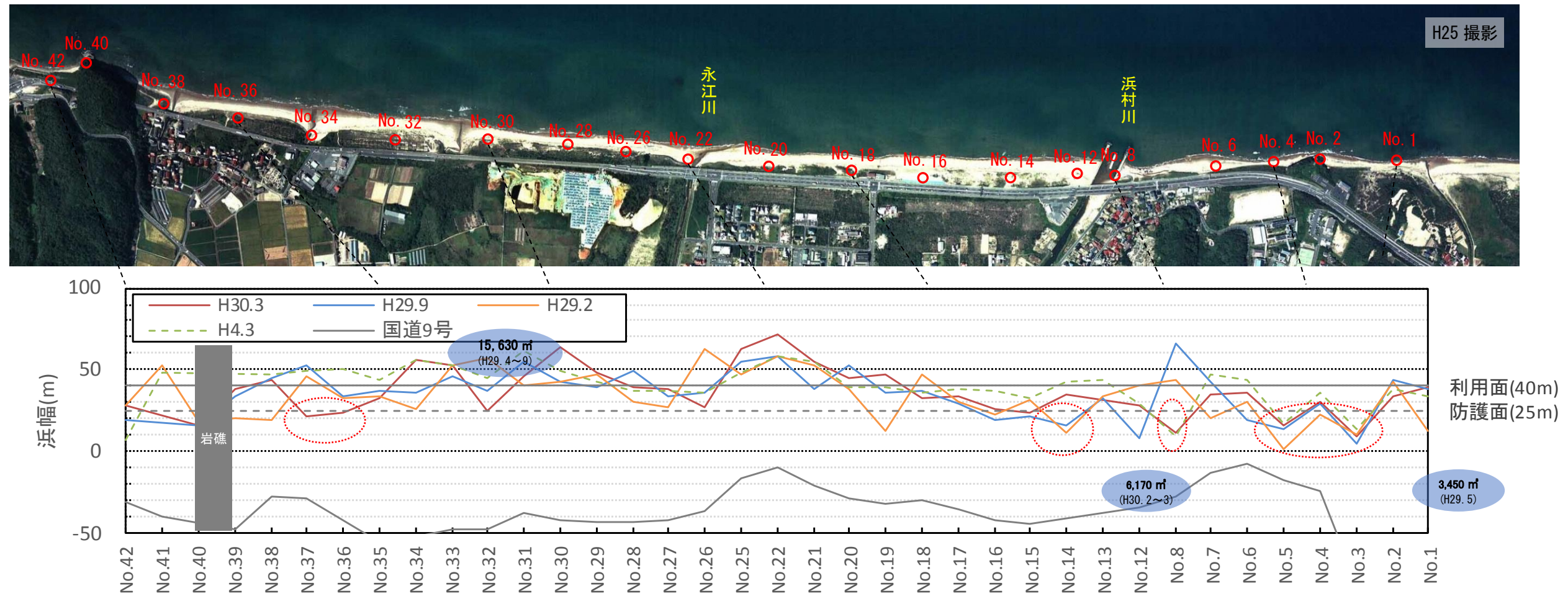


図 9.3.6 目安となる浜幅

9.4 問題点および今後の方針

- ・浜村川右岸(No.8)において、H30.3 測量で汀線の後退が確認されており、応急的にも養浜が望まれる箇所ではあるが、国道への飛砂も懸念される箇所でもあることから、慎重に対策にかかる必要がある。  
(平成 28 年度養浜を部分的に実施)
- ・当海岸については、季節的にダイナミックな変動が起きる箇所であるため、常に現場を注視しておく必要がある。

9.5 測線毎の汀線経年変化 (参考資料)



図 9.5.1 測量基点の位置 (気高海岸 (浜村地区))

表 9.5.1 気高海岸 (浜村地区) における汀線変化とその要因

年代	H4.3	H11.3	H11.9	H12.3	H12.9	H13.3	H13.9	H14.3	H14.9	H15.3	H15.9	H16.3	H16.9	H17.3	H17.9	H18.3	H18.9	H19.3	H19.9	H20.3	H20.9	H21.3	H21.9	H22.3	H22.9	H23.3	H23.9	H24.3	H24.9	H25.3	H25.9	H26.3	H26.9	H27.3	H27.9	H28.3	H28.9	H29.3	H29.9	H30.3
汀線の経年変化																																								
備考	年度	H11		H13		H15		H16		H17		H18		H19		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H29						
	月日	9 / 15	8 / 21	9 / 10	6 / 1	9 / 22	8 / 31	10 / 20	9 / 7	9 / 19	7 / 15	10 / 27	10 / 8	8 / 12	10 / 30	5 / 30	9 / 21	10 / 19	10 / 16	8 / 10	10 / 14	8 / 11	9 / 20	9 / 17	10 / 23															
台風	台風16号来襲(他1個)	台風11号来襲	台風15号来襲	台風4号来襲(他2個)	台風15号来襲	台風16号来襲(他2個)	台風23号来襲(他4個)	台風14号来襲(他1個)	台風13号来襲	台風4号来襲	台風20号来襲(他3個)	台風18号来襲	台風4号来襲	台風14号来襲(他1個)	台風2号来襲(他1個)	台風15号来襲(他1個)	台風21号来襲	台風26号来襲(他5個)	台風11号来襲	台風19号来襲(他1個)	台風13号来襲(他3個)	台風16号来襲(他1個)	台風18号来襲	台風21号来襲																